



秋月藩成立 400 年
節目の年に、秋月城跡石垣を除草



3月4日、秋月城跡石垣の除草ボランティア活動が、杉の馬場通り沿いの瓦坂周辺で行われました。

今年は、秋月藩成立 400 年を迎える年。「節目の年に、実際に歴史に触れながら、大切な史跡を守りたい。みんなで石垣をきれいにしよう」と、地元・秋月ルネサンス塾が協力を呼びかけました。

当日は、子どもから大人まで約 20 人が参加。ひな人形の長屋門屋外展示などで通りがかった多くの観光客も注目する中、参加者たちは、約 2 時間、石垣にびっしりと茂ったツルや草木を鎌などで切り落としました。

今年は、秋月藩成立 400 年記念事業にも注目ください。

十文字中学校で鮫島有美子さんと交流
「おもひ子」に心をよせ、歌う



◀「おもひ子」独唱の様子は市 Instagram でも公開。詳しくは動画もご覧ください。

3月3日、十文字中学校でソプラノ歌手・鮫島有美子さんの交流会が開催されました。

鮫島さんは、美智子上皇后陛下作曲の「おもひ子」を、2019 年「天皇陛下御在位三十年記念式典」で独唱するなど、50 年にわたり活躍されている歌手。「おもひ子」の歌詞は、朝倉市三奈木出身の歌手・宮崎湖処子の作です。

鮫島さんは「美智子さまと縁が深いこの地で歌えることをうれしく思う」とあいさつ。「おもひ子」を独唱し、あさくら賛歌合唱団や生徒たちとともに「ふるさと」を合唱しました。生徒たちは、鮫島さんの美しく温かい歌声に聴き入り、歌を通してふるさとの偉人のすごさを実感しました。



天智天皇杯第 10 回百人一首朝倉大会
かるた人が朝倉に集結

2月26日、サンライズ杷木で百人一首朝倉大会が開催されました。朝倉市は百人一首の筆頭歌が詠まれたとされる地。これにちなみ百人一首朝倉大会が始まり、今年で 10 回目を迎えました。

3年ぶりの開催となった今大会は、福岡県内各地から約 230 人の選手が集まり熱戦を繰り広げました。読手が上の句を読み始めると一瞬の静寂が訪れ、その後選手たちが一斉に札を取る光景は圧巻。試合時間は 1 時間を超えることもあり、素早い判断力や高い集中力などが求められます。

大会は C・D・E 級の 3 部門で開催。表彰式では、長時間にわたる大会を制した選手たちの安堵と喜びの表情が見えました。



▲大会に先立ち林市長は「筆頭歌が詠まれた地として、市民の皆さんは郷土に誇りを持ってもらいたい」とあいさつしました。

福田小学校×食生活改善推進員
「姿を変える大豆」を五感で体感

3月7日、福田小学校3年生の学習で、食生活改善推進会を講師に招いての出前講座と調理実習が行われました。

テーマは「姿を変える大豆」。児童たちは、大豆をミキサーにかけてから型箱に入れるまでの、本格的な豆腐作りを体験。途中で出たおからに、自分たちで切った野菜などを加えたおからサラダも作りました。

児童たちは、慣れない料理に苦戦しながらも、食生活改善推進員の教えのもと大豆が姿を変えていく過程を楽しく学び、豆腐が出来上がると歓声が上がっていました。元氣良く「いただきます!」を言った後は、もぐもぐとおいしそうに食べる姿が見られました。

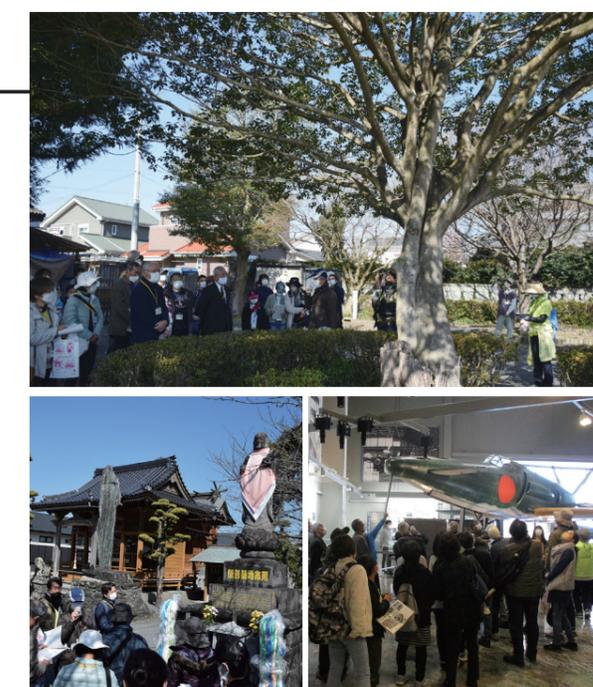


当時のことに思いを馳せ、次世代へつなぐ
戦跡をたどるフィールドワーク開催

3月5日、大刀洗空襲の戦跡をたどるフィールドワークが行われました。これは大刀洗空襲や頓田の森の悲劇を伝え、次世代へ継承していくために平和事業実行委員会が中心となり開催。福岡県内各地から 32 人が参加しました。

頓田の森平和花園や一木延命地蔵では、児童 31 人の幼い命を奪った「頓田の森の悲劇」について参加者は熱心に聞き入り、犠牲になった子どもたちを追悼。そのほか、当時のまま残るえん体壕跡や大刀洗平和記念館を訪れ、戦争の悲惨さ、平和の尊さを実感しました。

平和への関心も高まり、若い世代の参加者も増加。親子で参加した小学生は「戦争の恐ろしさを改めて知った。戦争について勉強をしているけど、怖いことや感動する話ばかりだった。戦争は、二度としてはいけないと思った。平和を大切にしていきたい」と話しました。



あさくらびと

地域で話題になっている人や団体、企業などを紹介するシリーズ。

第17弾は、「秋月鎧揃え保存会」の井上賢治さん取材しました。

Interview

秋月鎧揃え保存会 会長 井上賢治さん

筑前秋月和紙処を営む。平成13年に秋月に帰郷し、さまざまな地域活動を通じて、生まれ育った秋月の歴史や文化を探究・発信し続けている。

「秋月鎧揃え」は、秋月藩初代藩主・黒田長興が島原の乱に出陣する際、正月三日に軍事演習を執り行ったことに由来。平成21年5月に60年ぶりの復活を遂げて以降、保存会も発足。現在も継承されている。

(写真は、中心で活動している会員。井上さんは右から3人目)

歴史が息づくこの地で 身に纏うのは自覚と誇りと

歴史を調べ、大きく動き出す

秋月に帰ってきた当時、秋月にある祭りは「春祭り」だけでした。古文書などで調べるうちに、江戸時代に武者行列があったことを知り、復活させて秋月を賑わせることができないかと考えました。

最初は祭りでの区の出し物で鎧を着て町を練り歩き、年配の皆さんから喜ばれました。

それを3回続けた後、あえて一度止めました。もっと規模を拡大するためです。その後、狙い通り復活を望む声が大きくなり、地域の先輩方の尽力で、町をあげて取り組むことに。平成21年5月に、百数十人規模の類を見ない武者行列で町を練り歩くことができ、秋月の町が大いに活気づきました。

軍団としての強さと迫力、凛とした姿を表現したい

秋月鎧揃えは、相馬藩(福島県)の「馬揃え」、土佐藩(高知県)の「旗揃え」と並び、「天下三揃え」。これまで14回催すことができました。

「着初めの儀」も取り入れていきます。当時、土族に生まれた男子に、11歳の11月11日に初めて鎧を着せる儀式があり、大人になる覚悟をさせていたんです。秋月小5年生に、鎧を着て一人前になる心構えを体感してもらい、地元のこと

とや自分の人生を考えるきっかけになってほしいと考えています。

7年前から「博多どんたく」にも参加させてもらい、市の代表として朝倉をアピールできることもとても誇らしいです。賑やかな祭りの中、静々と歩き、軍団としての強さと迫力、凛とした姿を表現したいです。参加者にも見る人にも、歴史の物語に入り込んだような感覚を覚えてほしいと思っています。

歴史は未来に向かうヒント 歴史は秋月だけのものではない

もし黒田家がこの地を治めなかったら——。当時、黒田家が和紙や川茸、葛など、産業としての基盤を築いてくれたおかげで、現在の朝倉の姿があると思っています。そのことに常々感謝しています。

今年は、秋月藩成立400年。しかし、歴史は秋月だけのものではありません。朝倉の至るところに、古来から歴史が息づいています。朝倉に住む皆さんには、各地で息づく歴史を自分から学んで、誇りにしてもらいたいです。歴史が裏付けされたまちおこしは、息の長いものになると思います。

今年は、鎧や兜を増やす計画もあります。節目の年に、朝倉全体で歴史的な価値を高めていけたら。必要であれば、軍勢を率いて参ります。

会員募集中!

秋月鎧揃え保存会

問 会長・井上(☎090-4587-0347 または各 DM)

現在、14人で活動中。30歳～70歳代で幅広く、女性もいます。祭り・イベントへの出陣のほか、月1回の例会で、歴史の勉強会や殺陣・居合の練習をしています。八丁トンネル開通後は、筑豊地方との交流も盛んです。市内外・男女は問いません。秋月に興味がある人、鎧が好きなお人、活動に興味がある人は、お気軽にお問い合わせください。



博多どんたく港まつり 参加者募集!

問 市商工観光課(☎52-1428)

申 あさくら観光協会(✉info@asakurakankou.com)

鎧や和服を着て福岡の街を歩いてみませんか。

■日時・場所…5月3日(水・祝)・福岡市(朝倉市から送迎あり)

※パレードは20分程度ですが、出発～帰着で1日かかります。

■定員…10人程度(申込多数の場合は抽選)

①鎧武者(鎧は協会で用意します) ②和服隊(和服は各自用意ください)

■申込期限…4月14日(金)必着 ■申込方法…メール

※住所、氏名、年齢、性別、連絡先、鎧または和服の希望を記入

メール申込 ▶

